

# 救急車が新しくなりました

6月3日にTAOKA メディカル・ウェルフェア システムの救急車が新しくなりました。今までの救急車はボンネットタイプで赤色の横線が入っていましたが、新しい車輻はワンボックスタイプで青色の横線が上下に走ります。車体の大きさはわずかに小さくなっていますが、運転席が前方に移動した分、内部はかなり広くなりました。今後の活躍に期待します。



上の救急車は、きたじま田岡病院開院時に導入されました。平成15年4月から19年間に渡り活躍し、病院間や施設間の患者の移送だけでなく災害時の支援活動としても活用され、東日本大震災や熊本地震の際には現地に派遣されました。

前の車のバックミラーからはこのように見えます

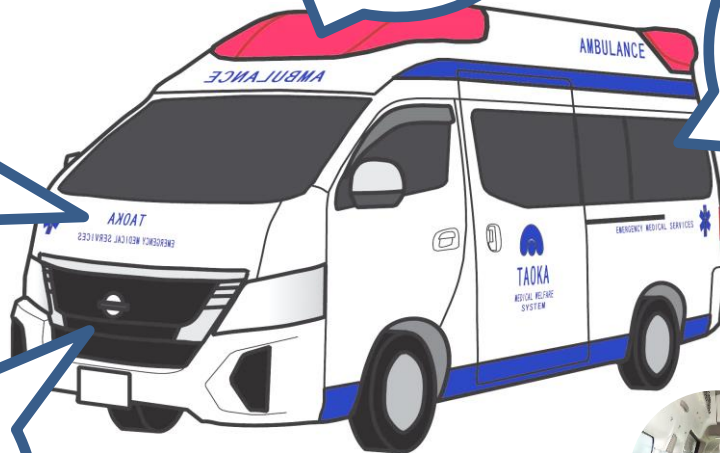


赤色灯はLEDになり、遠くからの視認性が大幅に向上しました。駆動部分がないため、天井も広くなりました。

前面のステッカーは鏡文字。前の車がバックミラーで見た時、反転して見えるようにしています。救急車輻だとすぐにわかります。

運転時の死角への対処として、車体に複数のカメラが装備されています。バックミラーはモニターになり視野が広がりました。

車内が広くなり、十分なスペースが確保されています。感染症対策で、運転席との間にはビニールカーテンが設置されています。



広い車内



バックミラーはモニターになっています

